

う

(相双) 双葉町山田婦人学級

○テレビを利用した商店街における家庭教育学習

(いわき) 植田婦人学級

ウ、他県婦人学級視察報告

エ、レクリエーション、歌唱、ゲーム

オ、まとめ・展示

(5) 効果

白河市教委の協力により、盛大に実施され、特に白河市婦人学級生と婦人団体の連携による自主的な大会運営は県下の参加者に深い感銘を与えた。

放送利用学習の方法に焦点をあてた部会の研究協議は、情報化時代における学習方法をきりひろく上で、今後の学習に新鮮な刺激をさそい効果があった。

8. 婦人教育指導者研修会

(1) 趣旨

県内婦人教育活動の各分野にわたり、自発的な学習を促進援助するため、中心的役割をはたす民間の有志指導者の養成と確保をはかる。

(2) 期日・会場

①期日 前期 昭和47年7月4日～8日(4泊5日)

後期 昭和47年11月28日～12月1日(3泊4日)

②会場 猪苗代町 国立磐梯青年の家

(3) 参加者 90名

① 市町村における社会教育、とくに婦人教育指導員たりう者

② 地域における婦人教育活動のリーダー

③ 婦人学級、婦人団体、社会教育施設、職場等における婦人教育活動のリーダー

上記①～③のいずれかに該当する年齢満55才未満(原則として)の婦人で、婦人有志指導者としての資質を有し、市町村教育委員会が推薦するもの。

(4) 内容・時間

① 基本研修……30時間

○変ぼうする社会と婦人教育問題に関すること

○婦人教育の内容・形態・方法に関すること

○ボランティア活動の意義と役割、実践に関すること

○リーダーの資質、技術の向上に関すること

○体育・レクリエーションに関すること

② 専門研修……20時間

Aコース……婦人学級リーダー育成コース

Bコース……婦人団体リーダー育成コース

Cコース……ボランティアリーダー育成コース

③ 研修方法

ア、講義 ○ボランティア活動の意義と役割

○ボランティア精神の育成と活動の促進

○婦人団体活動の意義と役割

○グループ育成とリーダーの役割

○グループワークの原理とグループ学習

○放送利用による婦人の学習について

○視聴グループの育成と婦人の学習

イ、演習 ○あたらしい婦人学級の運営について

討議 ○婦人団体と地域づくり活動

○ボランティア活動の問題点と今後の課題

○放送利用学習の実践と問題点

ウ、実技研修 ○視聴覚教育機器の活用について

○キャンドルのつどい

○フォークダンスの指導方法

エ、コース別研修

オ、全体協議

協議題「研修の反省と地域における実践活動」

カ、レクリエーション 交歓会

キ、ホームワーク

○必須課題(その1)

●婦人学級の放送利用学習を促進するために、どんなふうを試みたか

●婦人団体の育成・助長をはかるための試案について(方策と実践活動の記録)

●婦人ボランティア活動をすすめるために、婦人学級(団体)における学習計画(実践活動)の中に、これをどうもりこみ、ボランティア精神を高めたか。

○自由課題(その2)

●いきいきした地域の婦人教育活動をもりあげるために、地域別にグループをつくり、研究テーマをたて、具体的な調査・研究・実践をすすめる。

ク、地域別研修(管内ブロックごと)

(5) 効果

新規事業でもあり、県下のトップリーダーが集まり、研修内容、研修意欲ともにきわめてすぐれ、恵まれた講師陣を得て、きびしさの中に充実度の高い成果を収めた。今後地域の核となり、自発的な活動促進のための中心的役割を果たす意欲がみなぎっていることは、まことに喜ばしく、婦人有志指導者としての活躍が期待される。

9. 婦人学級の状況

年度	計	県委託補助	市町村教委	公民館	婦人団体	教委団体共催	婦人有志開設	その他
47	600	7	111	327	88	46	6	15

10. 文部省委嘱・県研究婦人学級

(1) 目的

婦人教育の学習の機会の拡大と、学習内容、方法の充実を期するため、婦人学級の開設、運営について研究を委託した。

(2) 学級名

① 文部省委嘱事業——婦人ボランティア促進方策

予算 803,000円 (全国6市)

会津若松市婦人ボランティア講座

② 県研究婦人学級(県費2万円)

霊山町テレビ婦人スクール 放送利用学習の方法

平田村若妻婦人学級 "

西郷村川谷婦人学級 "

柳津町研究婦人学級 "